

1、 恐竜で“地味に、すごい福井”だけじゃない、次の福井へ

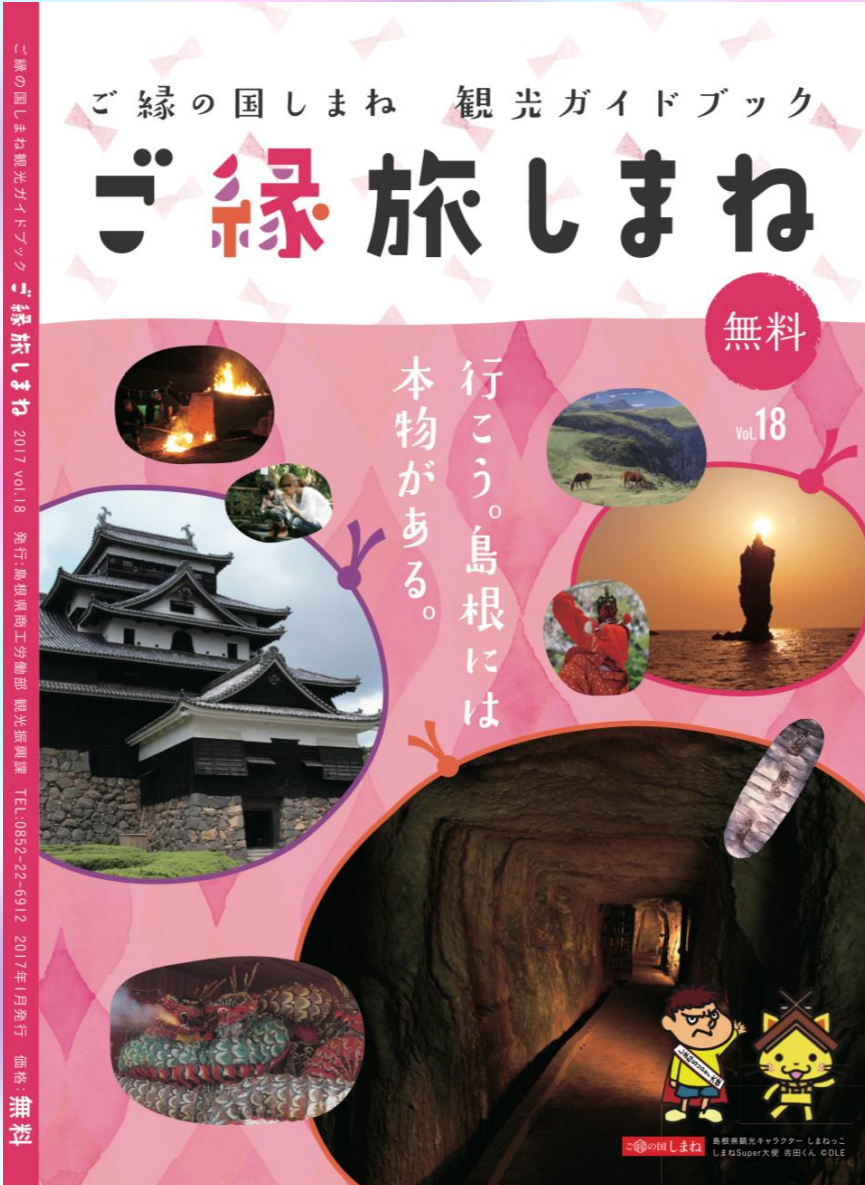


1、 恐竜で“地味に、すごい福井”だけじゃない、次の福井へ



地味にすごい、福井
“JIMI NI SUGOI” FUKUI

1、 恐竜で“地味に、すごい福井”だけじゃない、次の福井へ



2、 高齢者の生きがいづくりや健康づくりを応援！

事業内容説明

長寿福祉課

事業名	令和7年度 当初 予算額	令和6年度 当初 予算額	比較	令和7年度当初予算額の財源内訳				事業内容
				特定財源			一般財源	
				国支出金	地方債	その他		
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
								4 老人クラブ活動助成事業 42,107千円 [42,164千円] 老人クラブの運営、各種活動を支援 事業内容 県老人クラブ、市町老人クラブ、単位 老人クラブの活動に対する補助 補助対象 市町老人クラブ、単位老人クラブ等 補助率 国1/3、県1/3（市町1/3） 県10/10 財 源 国庫、高齢者保健福祉基金
								5 ㊦シニアチャレンジ応援事業 23,445千円 [13,231千円] 地域貢献活動や多世代間交流活動等に支援し、高齢者の 社会参加を促進 事業内容 シニアグループが行う以下の活動への支援 ㊦生きがいづくり活動 補助額 10万円／団体（新規・既存） 多世代間交流・地域貢献・健康づくり・ 地域文化活動 補助額 20万円／団体（新規） 10万円／団体（既存） ㊦シニア応援文化祭の開催 ふくい健康長寿祭の開催 財 源 高齢者保健福祉基金

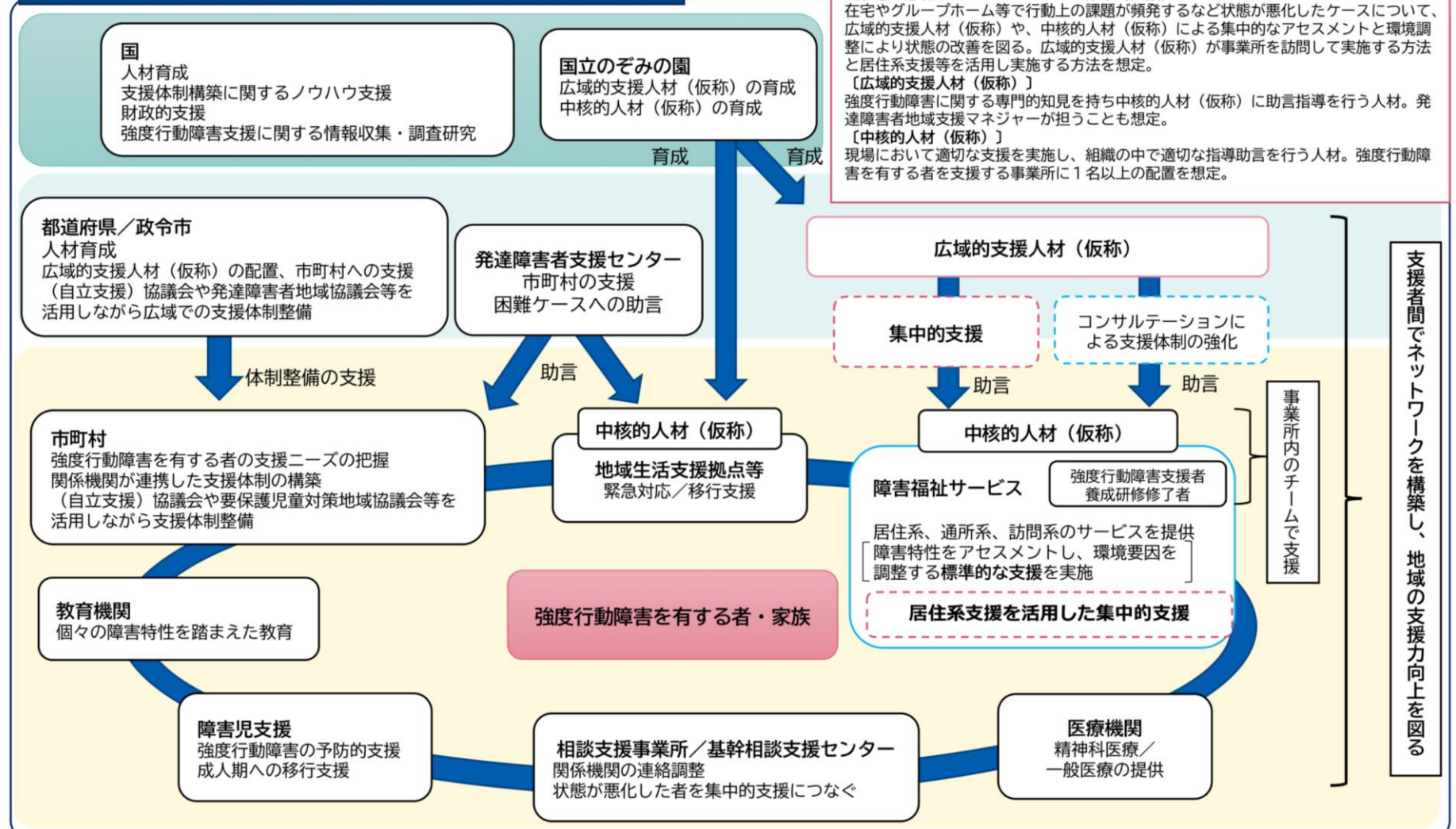
3、障がい児とその家族が安心して成長、生活ができる支援体制に

第8回強度行動障害を有する者の地域
支援体制に関する検討会

令和5年3月23日

参考資料1

強度行動障害を有する者の地域支援体制（イメージ）



4、新たに出された使用済燃料対策ロードマップについて

使用済燃料対策ロードマップ

2025年2月13日
関西電力株式会社

- ・六ヶ所再処理工場の2026年度中の竣工に向け、関西電力を中心に、審査・検査に対応する人材を更に確保
- ・2027年度から再処理開始、2028年度から使用済燃料受入れ開始。再処理工場への関西電力の使用済燃料の搬出において、2030年度までの3年間で198tを搬出（全体再処理量の約6割）。その後も必要量を確保し搬出するよう取り組む
- ・使用済MOX燃料の再処理実証研究のため、2027年度から2029年度にかけて高浜発電所の使用済燃料約200tを仏国オラノ社に搬出、データ充実化が必要になったことを踏まえ、さらに200t関西電力から搬出容量枠を確保し、まず2030年度から100tを搬出する
- ・中間貯蔵施設の他地点を確保し、2030年頃に操業開始
- ・中間貯蔵施設の操業を開始する2030年頃までの間、六ヶ所再処理工場および仏国オラノ社への搬出により、使用済燃料の貯蔵量の増加を抑制
- ・あらゆる可能性を組み合わせる必要な搬出容量を確保し、着実に発電所が継続して運転できるよう、環境を整備する
- ・本ロードマップの実効性を担保するため、今後、原則として貯蔵容量を増加させない
- ・使用済燃料の中間貯蔵施設へのより円滑な搬出、さらに搬出までの間、電源を使用せずに安全性の高い方式で保管できるよう、発電所からの将来の搬出に備えて発電所構内に乾式貯蔵施設の設置を検討

年度	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	
六ヶ所再処理工場	竣工	各電力会社の使用済燃料の再処理										
		下期 70t	上期 60t	下期 110t	上期 0t	下期 90t	(徐々に800tに増加)		800t	800t	800t	800t
		各電力会社の使用済燃料受入れ										
		130t		110t		90t※		(徐々に800tに増加)		800t	800t	800t
		関西電力からの使用済燃料搬出量										
使用済MOX燃料 再処理実証研究	高浜発電所から仏国搬出（オラノ社への搬出 200t+100t）	70t		70t		60t		100t				
		中間貯蔵施設 操業										
中間貯蔵施設												

※ 受入れ量は前年度下期と当年度上期の再処理量の合計値であるが、2030年度上期の再処理量が公表されていないため、2029年度下期の再処理量の値を記載

4、新たに出された使用済燃料対策ロードマップについて

